

第9期レイカディア大学地域貢献活動アンケート調査のまとめ

第9期 サポート隊

地域活動部会 会長 野田 定

1. 調査目的

滋賀県では、誰もが生きいきと豊かに暮らせる明るい長寿社会を創造する新たな郷土づくりをめざしています。レイカディア大学は、滋賀県に在住する社会参加意欲の高い高齢者が、新しい知識、教養と技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援している場です。

この調査はレイカディア大学と協働して学生の支援を行うサポート隊の地域活動部会が、草津校の卒業生に対し毎年4月にアンケート調査を実施しているもので今年が5回目となります。調査の目的は、地域で活躍している大学卒業生の地域活動の実態把握と存在意義を明らかにするために実施しました。

2. 調査対象

(1) 対象卒業生数（平成31年3月対象人数）

第37期卒業生 [平成28年9月卒業]	111名
第38期卒業生 [平成29年9月卒業]	114名
第39期卒業生 [平成30年9月卒業]	115名
対象人員計	340名

※対象人数の推移（サポート隊の期で表示、年は9期調査実施年を基準に表記）

6期(2016年)	7期(2017年)	8期(2018年)	9期(2019年)
369名	370名	348名	340名

(2) 調査対象期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間

3. アンケート調査結果

(1) 全般について

- ・アンケートを実施して5回目ですが、昨年度の在籍者数は一昨年の22名減から8名減に留まりました。近年の定年延長や再雇用制度拡大に伴って入学者の確保が難しい状況にありますが、卒業生・同窓会による度重なる学生募集活動も大きく貢献しています。
- ・ただし、卒業生のボランティア活動への参加意識は高い状態であり、在籍者一人当たりの年間活動時間も114時間となり、前年度を5%近く上回りました。（表 1）
- ・活動報告者の活動割合についても学科合計で92%と更に高い水準を維持しており、卒業生が構築したネットワークを生かし、さらに新たな地域活動の場で活躍する意欲や関心の高さが感じられます。

（表 2）

表 1 年間活動時間推移

	第 9 期 (2019年)				第8期実績 (2018年)	2018年との比較	
	第37期	第38期	第39期	合計		前年比	前年差
在籍者数	111	114	115	340人	348人	97.7%	△ 8人
年間活動時間	11,947	13,894	13,035	38,876時間	37,957時間	102.4%	919時間
1人当たり 年間活動時間	107.6 時間	121.9 時間	113.3 時間	114.3 時間	109.1時間	104.8%	5.3時間

* サポート隊活動時間を含まず

表 2 第9期 アンケート回答結果 (活動者割合)

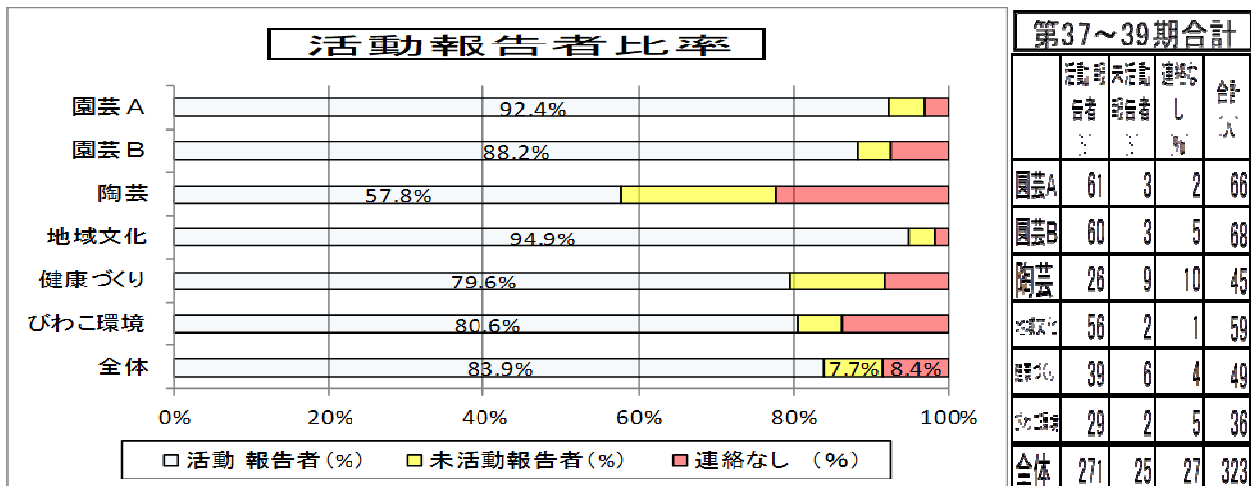
単位:人、%

	活動報告者(人)				未活動報告者(人)				活動者割合(%)				連絡なし(人)				在籍者数(人)			
	37期	38期	39期	合計	37期	38期	39期	合計	37期	38期	39期	合計	37期	38期	39期	合計	37期	38期	39期	合計
園芸A	20	19	22	61	3	0	0	3	87%	100%	100%	95%	0	2	0	2	23	21	22	66
園芸B	23	24	13	60	0	1	2	3	100%	96%	87%	95%	0	0	5	5	23	25	20	68
陶芸	17	9	-	26	7	2	-	9	71%	82%	-	74%	1	9	-	10	25	20	17	62
地域文化	14	22	20	56	2	0	0	2	88%	100%	100%	97%	0	1	0	1	16	23	20	59
健康づくり	14	14	11	39	3	1	2	6	82%	93%	85%	87%	0	3	1	4	17	18	14	49
びわこ環境	5	5	19	29	0	0	2	2	100%	100%	90%	94%	2	2	1	5	7	7	22	36
合計	93	93	85	271	15	4	6	25	86%	96%	93%	92%	3	17	7	27	111	114	115	340

* 39期陶芸(17名)アンケートまとめ報告なし



【グラフ 1】



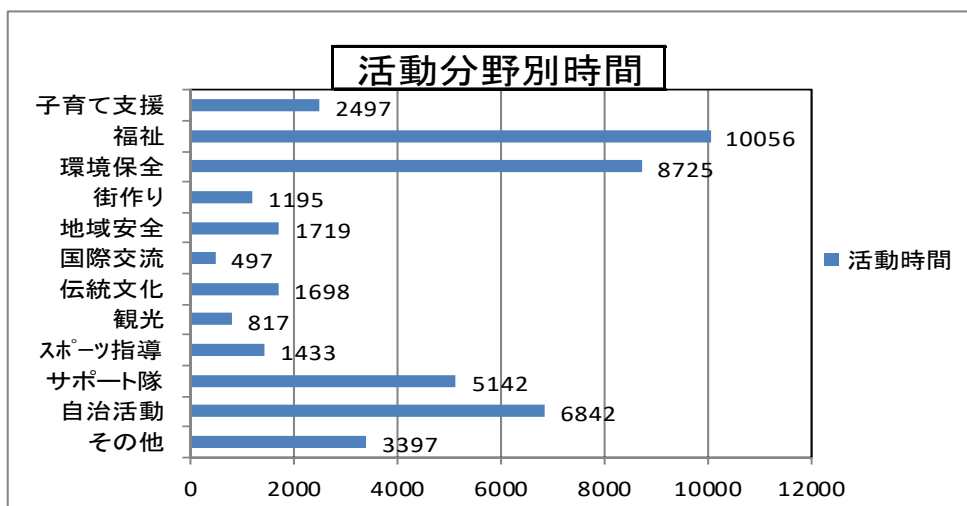
(2) 活動分野別集計（サポート隊含む）

- ・今年も例年と同様に12の活動分野に分けて集計しました。
- ・12の活動分野別に見ると、福祉関係が全体の23%、環境関係20%、自治会活動16%、サポート隊12%とこれら4分野で71%となり、この傾向は例年と変わりありません。
- ・一人当たりの活動時間は平均60時間で、特に多いのは福祉関係とスポーツ指導、自治会活動となっています。福祉関係は民生委員などの専門の知識や能力を持った人がその任にあたり、成果も出されています。
- ・一方、街づくり、地域安全活動、国際交流、伝統文化、観光関連分野では、例年同様に活動人員や活動時間は伸びていない状況です。

表 3 第9期 活動分野別の活動時間・活動人員・一人当たり活動時間

活動分野		具体的活動項目例	活動時間	構成比	活動人員	時間/人
1	子育て支援	保育園・小学校での学習支援。学童保育。地域教育協議会での工作指導等。	2,497	5.7%	49	51.0
2	福祉	福祉施設での慰問活動。福祉施設のイベント開催支援活動。病院・福祉施設での傾聴ボランティア。高齢者・障害者のための自動具製作。高齢者の生活相談。独居老人への給食配達。民生委員等。	10,056	22.8%	116	86.7
3	環境保全	公共施設の樹木の剪定、除草、清掃。河川清掃。里山保全。公共施設での花壇作り。琵琶湖岸のヨシ刈り。琵琶湖外来魚駆除。桜並木の保全。温暖化対策の啓発活動等。	8,725	19.8%	167	52.2
4	街作り	商店街役員。街活性化イベント開催の運営支援。観光施設の整備。史跡の保存等。	1,195	2.7%	30	39.8
5	地域安全	自衛消防隊員。防犯パトロール。夜回り。児童の登下校時の見守り。児童の登下校時の交通安全指導等。	1,719	3.9%	31	55.5
6	国際交流	国際交流協会役員。外国籍児童への生活支援。在留外国人への日本語指導等。	497	1.1%	7	71.0
7	伝統文化	神社、仏閣の護持運営委。伝統的祭り(大津祭り、宿場祭り等)の運営委支援。古文書、文化財の調査等。	1,698	3.9%	25	67.9
8	観光	観光ボランティアガイド。史跡巡りのコース作り等。	817	1.9%	18	45.4
9	スポーツ指導	百歳体操。各種スポーツの指導者等。	1,433	3.3%	17	84.3
10	サポート隊	サポート隊の会議、調査、園芸クラブ作業、選択講座の助手活動、サポート隊ボランティアの日参加等。	5,142	11.7%	132	39.0
11	自治会活動	自治会役員。自治会主催の各種活動(住民交流会、防災、環境整備、人権教育等)等。	6,842	15.5%	85	80.5
12	その他	図書館司書ボランティア。各種学芸の指導者。パソコン指導。囲碁、将棋の指導。図書館、美術館の企画・運営。日本舞踏の指導。写経・書道の指導等。	3,397	7.7%	53	64.1
合 計			44,018	100.0%	730	60.3

【グラフ 2】



活動分野	活動時間
子育て支援	2,497
福祉	10,056
環境保全	8,725
街作り	1,195
地域安全	1,719
国際交流	497
伝統文化	1,698
観光	817
スポーツ指導	1,433
サポート隊	5,142
自治活動	6,842
その他	3,397
合計	44,018

(3) 学科別集計 (サポート隊含まず)

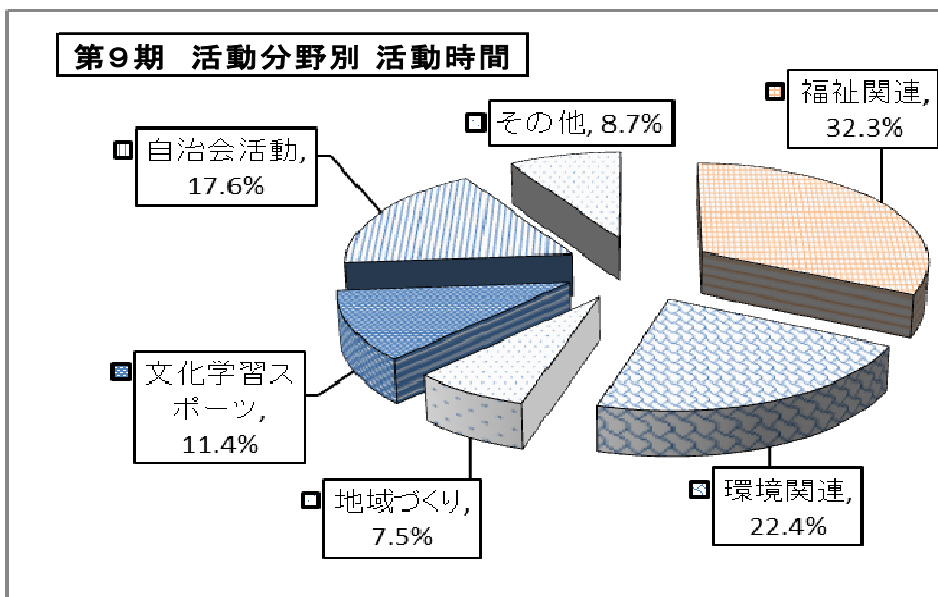
- ・園芸学科は福祉関連と環境関連活動の取り組みが多くみられ構成比も55%と多くを占めています。大学で学んだ知識・経験を生かしていることが見て取れます。
 - ・陶芸学科は陶芸の技術を生かした陶芸教室の開催や助手活動以外、福祉活動関連でも活動比率が高く、幅広い活動に参加されています。
 - ・地域文化学科では、福祉施設での活動、民生委員、神社等の護持運営・自治会活動など各分野で広く地域の方々との交流がなされています。
 - ・健康づくり学科は健康づくりを通じた活動で児童福祉・高齢者支援活動に携わっています。
 - ・びわこ環境学科は環境問題に関連した幅広い活動に多くの時間がかけています。
- 各学科とも大学で学んだことが、卒業後に生かされて多方面の活動につながっていると感じられます。

表 4 第9期 学科別活動時間表

単位:時間

	園芸A	比率%	園芸B	比率%	陶芸	比率%	地域文化	比率%	健康づくり	比率%	びわこ環境	比率%	合計	比率%
福祉関連	4,094	34%	1,496	21%	763	46%	3,126	35%	2,124	61%	950	17%	12,553	32.3%
環境関連	3,068	26%	2,205	31%	243	15%	792	9%	151	4%	2,266	40%	8,725	22.4%
地域づくり	555	5%	604	8%	45	3%	678	8%	160	5%	872	15%	2,914	7.5%
文化学習スポーツ	1,076	9%	1,447	20%	25	2%	1,223	14%	385	11%	289	5%	4,445	11.4%
自治会活動	2,357	20%	1,215	17%	402	24%	2,248	25%	404	12%	216	4%	6,842	17.6%
その他	800	7%	235	3%	184	11%	865	10%	271	8%	1,042	18%	3,397	8.7%
合計	11,950	100%	7,202	100%	1,662	100%	8,932	100%	3,495	100%	5,635	100%	38,876	100%

【グラフ 3】



活動分野集約(12→7)

関連7分野	詳細12分野	
・福祉関連	①子育て支援	②福祉
・環境関連	③環境保全	
・地域づくり	④街づくり	⑤地域安全
・文化学習スポーツ	⑥国際交流	⑦伝統文化
	⑧観光	⑨スポーツ指導
・自治会活動	⑩自治会活動	
・その他	⑪その他活動	

* ⑩サポート隊活動は除く

(4) サポート隊の活動について

草津校・サポート隊はレイカディア大学の卒業生で構成されている組織であり、大学の存在を多くの県民に知ってもらうことや大学事務局・在校生のサポート活動を卒業後の原則3年間行うこととしています。主に新入生を確保する学生募集活動や在学生の皆様に初級パソコン教室や健康スポーツなどの講習会等を開催しています。また、広報冊子を作成し、社会の皆様に情報の提供をしています。そして、年に一度「サポート隊レイカディアの日」を設け、草津校・米原校の在校生および卒業生が参加してボランティア活動を行っています。今年は175名の参加を頂き、守山市の「地球市民の森」での樹木の剪定・竹林伐採を実施し、作業後にBBQを行って交流を深めました。

今期のサポート隊の活動は下記表の内容でした。(表 5)

表 5 サポート隊 活動内容のまとめ

期間 : 2018/4 ~ 2019/3

	延べ人数	作業時間	サポート隊員数
総務局 (役員会議・調整会議を含む)	728	1,546	8
園芸クラブ	295	482	105
事業企画部会	308	554	20
自主講座部会	543	1,438	42
地域活動部会	237	544	38
広報情報部会	167	578	18
合 計	2,278	5,142	231

・サポート隊員数は、第9期の人数です。

4. その他

上記のアンケート調査の報告には含めていませんが、在校生を含めた各種の同好会活動（城郭探訪、フォトウォーク、グランドゴルフ、書道、詩吟、囲碁等々）が実施されていて、大学卒業後も在籍時と同様に在校生・卒業生間のつながりが途絶えることはありません。これらの結びつきがそれぞれの地域で実施されている地域ボランティア活動の継続や拡大に大きく貢献しているものと思われます。

今回のアンケートで報告を受けた卒業生の92%が何らかの社会活動に参加しています。

この数値は県社協の広報誌「じゅげむ」の記事にある「65歳以上の一般市民に訊ねたシニアの社会参加アンケートで実際に社会参加活動を行っている」と答えた58%より大幅に上回っています。

社会参加意識の高い学生がレイカディア大学に集まり、さらに受講や仲間のネットワークが実際の行動に繋がると考えられます。前述アンケートによれば一般市民の中で「できれば社会参加活動に参加したい」という想いを持たれている方が40%おられ、その掘り起こしがこれからの課題であります。

最後に本アンケート調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます、調査結果が広くPRされ、レイカディア大学がより多くの方にご理解頂くことが出来れば幸いです。

以 上